

日時 令和5年 11月 9日(木) 第6時限  
学級 第2学年 (16名)  
場所 会議室  
授業者  
指導教諭

### 1. 単元名

『Let's Enjoy English!』 , No. 106-107 (現在完了形〈経験〉)  
験)

### 2. 単元について

#### (1) 単元観

本単元では実習校のオリジナル教材(『Let's Enjoy English!』)のNo. 106-107(現在完了形〈経験〉)を使用する。この教材は会話文を中心に構成されており、No. 106-107では何らかの経験を尋ねてそれに答える会話(構文)が紹介されている。言語材料は現在完了形〈経験〉であり、それを使用して「～をしたことがある?」と経験の有無を他者に尋ね、自らの経験を語る(「～をしたことがある(ない)」)ことができるようになることを意図して教材が作成されている。教材には会話文を作るときに役立つ単語(物や生き物、人物、場所)が掲載されているため、適宜それらに関連する話題(例えば「Easter Island(イースター島)」に関しては大英博物館所蔵のモアイ像返還問題について)を紹介・解説し、それを通して中学2年生の視野を広げ、社会問題への関心や国際理解を深めたい。

#### (2) 生徒観

間違ふことを恐れず、積極的に授業に参加する中学生が多い。疑問点や気になる部分があればそれを尋ね、発音練習では積極的に声を出している。会話文を作るときには内容を工夫し、既習内容を活用しようとする試みも見られる。英語学習に苦手意識を持っており授業に対して消極的な子もいるが、少しずつ参加の割合が増えて前向きな姿勢が見られるようになっている。

#### (3) 指導観

導入においては現在完了形〈経験〉の文の形やそれが表す意味、用法を丁寧に説明する。中学生は複数の過去分詞を既に学習しているため、それらと結びつけながら導入を行うことで関心を高め、難しさを和らげる。会話文を繰り返し発音したりペアで会話をしたりすることを通して現在完了形〈経験〉の表現や英語を話すことに慣れることを目指す。会話文の発音練習においては機械的な繰り返しを避けるため、様々な内容の会話文を使用する。授業実施者は教材に掲載されていない単語や表現、会話文を積極的に紹介することに努め、ペアでの会話練習において中学生が想像を膨らませて自由に会話文を産出することを促す。中学生の視野を広げ、社会問題への関心や国際理解を深めるため、新しい単語や表現を紹介する時には、それらに関連する話題を適宜紹介・解説する。

### 3. 単元の目標

知識・技能:

現在完了形〈経験〉の文の形、意味、用法を理解している。現在完了形〈経験〉を用いて、文法と発音の

面で正確な文を産出することができる。

思考・判断・表現：

現在完了形〈経験〉を用いて表現されている文の内容を理解することができる。現在完了形〈経験〉を用いて、他者の経験について尋ね、自らの経験を伝えることができる。

主体的に学習に取り組む態度：

自分や相手の経験を伝え合うために意欲的にコミュニケーションをすることができる。間違えたり思うように意思疎通ができない時には、諦めずに間違いを正そうとしたり意思疎通を図るために働きかけることができる。

4. 指導計画（全4時間）

時	学習内容
第1時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在完了形〈経験〉（「[主語]+have+[過去分詞]+[物/動物]+[回数]」）の文の形、意味、用法を学ぶ</li> <li>・No. 106 掲載の単語を学ぶ</li> <li>・会話練習（「[主語]+have+[過去分詞]+[物/動物]+[回数]」の内容）</li> </ul>
第2時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会話練習（「[主語]+have+[過去分詞]+[物/動物]+[回数]」の内容）</li> <li>・現在完了形〈経験〉（「[主語]+have+met/visited+[人物/場所]+[回数]」）の文の形、意味、用法を学ぶ</li> <li>・No. 106 掲載の単語を学ぶ</li> </ul>
第3時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・No. 106 掲載の単語を学ぶ</li> <li>・会話練習（「[主語]+have+met/visited+[人物/場所]+[回数]」の内容）</li> </ul>
第4時 （本時）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在完了形〈経験〉（「been to」）の文の形、意味、用法を学ぶ</li> <li>・No. 107 掲載の単語を学ぶ</li> <li>・会話練習（No. 106 と No. 107 の内容を組み合わせた会話内容）</li> </ul>

5. 本時の展開

（1）本時の目標

現在完了形〈経験〉の「been to（行ったことがある）」の文の形、意味、用法を理解しており、それを用いて「(特定の場所に)行ったことがあるか」を伝え合うことができる。

（2）本時の評価基準

ア. 知識・技能	イ. 思考・判断・表現	ウ. 主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在完了形〈経験〉（「been to」）の文の形、意味、用法を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「～（場所）に行ったことがある？」と他者に尋ねることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分や相手の経験を伝え合うために意欲的にコミュニケーションをすることができる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在完了形〈経験〉（「been to」）を用いた文を</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「～（場所）に行ったことがある？」と尋ねられた時、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・間違えたり思うように意思疎通ができない時には、諦めずに間違いを正そうと</li> </ul>

正確に発音することができる。	自らの経験を他者に伝えることができる。	したり意思疎通を図るために働きかけることができる。
----------------	---------------------	---------------------------

(3) 本時の展開

過程	時間	学習内容と活動	指導上のポイント
導入	3分	○挨拶  ○本時の内容を確認する	○挨拶 ・今日は授業実施者が担当する最後の授業であると伝える。  ○本時の内容を確認する ・No. 107 の内容（現在完了形〈経験〉の「been to」）を中心に学ぶ。 ・No. 106 と No. 107 の内容を組み合わせた会話練習 ・前回の授業の終わりに紹介した「He/She has +[過去分詞]+[物/生き物/人物/場所]+[回数]」（現在完了形〈経験〉の主語が三人称単数）は、本時においては扱わないと伝える（後日扱うと伝える）。
展開	4分	～No. 107～ ○現在完了形〈経験〉（「been to」）を学ぶ	○現在完了形〈経験〉（「been to」）を学ぶ ・No. 107 の枠内の会話文（「Have you ever been to Scotland?」「Yes, I have been there once」「No, I have never been there.」）を授業実施者が発音し、その後に続いて中学生が発音する。 ・No. 107 の枠内の会話文の意味を中学生に尋ねる。 ・No. 107 の枠内の会話文の意味を伝え、過去分詞「been」を使って「行ったことがあるか（経験の有無）」を表すことができることを説明する（過去分詞「visited」とのニュアンスの違いを伝える）。 ・「been [場所]」ではなく「been to [場所]」であることを確認する。 ・場所を「there」に置き換えている返答文では「been to there」ではなく「been there」となっていることを確認する。 ・No. 107 の枠内の会話文（「Have you ever been to Scotland?」「Yes, I have been there once」「No, I have never been there.」）を授業実施者が発音し、その後に続いて中学生が発音する。

展開	5分	○会話文（複数）の発音練習	<p>○会話文（複数）の発音練習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業実施者が会話文を発音し、その意味を中学生に尋ねる。</li> <li>・会話文の意味やポイントを確認し、関連する情報を伝える。</li> <li>・授業実施者が発音し、その後続いて中学生が発音する。</li> </ul> <p>会話文の例：</p> <p>(1) 「Have you ever been to Ayers Rock?」「Yes, I have been there once」 （「Ayers Rock」の写真を見せる/返答文では「Ayers Rock」が「there」に置き換えられていることを確認する/「Ayers Rock」はどのような場所かを解説する）</p> <p>(2) 「Have you ever been to the White House?」「No, I have never been there」 （返答文では「the White House」が「there」に置き換えられていることを確認する/固有名詞の「the White House」と「白い家」という意味の「a white house」はアクセントの位置が異なることを確認する/同様の例として「blackboard（黒板）」「black board（黒い板）」のアクセントの位置も確認する）</p>
展開	15分	○No. 107の単語（場所）を一つひとつ学ぶ	<p>○No. 107の単語（場所）を一つひとつ学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単語（場所）を発音する（授業実施者が発音し、それに続いて中学生が発音する）。</li> <li>・単語（場所）の意味を確認し、どのような場所であるかを授業実施者が解説する。</li> <li>・新しく学んだ単語（場所）を使って「Have you ever been to [場所?」「Yes, I have been there [回数]」「No, I have never been there」の会話文を作り、中学生が授業実施者の後に続いて発音する。</li> <li>・複数回行う。</li> </ul>
展開	18分	○2人1組で会話練習を行う	<p>○2人1組で会話練習を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・向かい合わせの位置にいる中学生同士がペアになって会話練習を行う（中学生は円形になって座っている）。</li> <li>・授業実施者は、発音や表現などに気になる点があれば、</li> </ul>

		<p>その都度簡単なフィードバックを行う (★)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題ない場合は、「そう!」「良い感じ!」とポジティブな声かけをする。</li> <li>・全員に伝えたいことや★において伝えきれなかったことは、会話練習が終わった後に時間を設けて伝える。</li> <li>・会話文の内容は No. 106 (「[主語]+have+[過去分詞]+[物/生き物/人物/場所]+[回数]」) と No. 107 (現在完了形〈経験〉の「been to」) の内容を組み合わせたものである。</li> </ul> <p>会話練習で使う会話文：</p> <p>中学生 1：「Have you ever been to [場所]?」</p> <p>中学生 2：「(行ったことがない場合であっても) Yes, I have been there [回数]」</p> <p>中学生 1：「Have you ever + [過去分詞] + [物/生物/人物/場所]?」</p> <p>中学生 2：「Yes, I have [過去分詞] it/him/her/there (回数)」または「No, I have never [過去分詞] it/him/her/there」</p> <p>会話文の例：</p> <p>中学生 1：「Have you ever been to Taiwan?」</p> <p>中学生 2：「Yes, I have been there twice」</p> <p>中学生 1：「Have you ever eaten Chou-dofu (臭豆腐)?」</p> <p>中学生 2：「Yes, I have eaten it twice」</p>	
展開	3分	<p>○「have been to」と「have gone to」の意味の違いを学ぶ</p>	<p>○「have been to」と「have gone to」の意味の違いを学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「have gone to」は「行ってしまい、戻ってきていない」という意味であり、「have been to」は「行ったことがある(戻ってきている)」という意味であると伝える。</li> <li>・会話文を授業実施者が発音し、それに続いて中学生が発音する。</li> </ul>
まとめ	2分	<p>○No. 106 と No. 107 のまとめ</p>	<p>○No. 106 と No. 107 のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・No. 106 (「[主語]+have+[過去分詞]+[物/生き物/人物/場所]+[回数]」) と No. 107 (現在完了形〈経験〉の「been to」) の内容を組み合わせた会話文を授業実施者が発音し、その後続いて中学生が発音する。</li> </ul>

Let's Enjoy English !

No.107

Have you ever been to Scotland ?

Yes, I have been there once.

No, I have never been there.

Has Peter ever been to Scotland ?

Yes, he has been there twice.

No, he has never been there.

Have you ever been to

Yes, I have been to

No, I have never been to

Has Emily ever been to

Mike

Yes, she has been to  
he

No, she has never been to  
he



Thailand



China



Easter Island



London



Koyasan



Tojinnbo (Fukui)



Jigokudani hot spring



Mt Fuji



Ueno Zoo



Shirakawa Village



Nagasaki



Hiraodai



Emily went to England.

Tony has been to England.

Robert has gone to England.